

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3Nagatacho GRID 4F

TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp

こくみんみんしゅ
Press

号外

2026年SPRING

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL : 03-3508-7231
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13

TEL : 0294-21-5522
FAX : 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



衆議院議員
浅野さとし

茨城県知事
大井川和彦

「**活力があり、
県民が日本一幸せな県**」の
実現に向け、**県民の皆さんと
共に挑戦していく**



2026年特別企画として、本年も大井川和彦 茨城県知事との特別対談を実施させていただきました。対談では、物価高対策、茨城県の将来、茨城県が果たすべき役割等について取り組んだ2025年度を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。



大井川知事の政策や活動等はこちらより確認できます

2025年度の振り返り

社会の変化を象徴する出来事が 多い激動の1年

浅野衆議院議員（以下、浅野） 2025年度は、知事にとって3期目の当選を果たされた極めて重要な選挙の年でもありました。選挙戦を通じて、県民から寄せられた期待や、対話の中で感じた「茨城県政への手応え」はどのようなものでしたでしょうか。また、この一年は「TXの都心直結に向けた事業化促進」や「県立病院の再編統合」など、茨城の未来を左右する大きな決断も重なりました。選挙という節目を経て、改めて3期目のスタートとなった2025年度を振り返り、印象に残った出来事やトピックについてお聞かせください。

大井川茨城県知事（以下、大井川） 昨年の知事選挙では、2期8年の実績とともに更なる改革の必要性を訴えました。その結果、多くの県民の皆様からご理解とご支援をいただき、3期目の重責を担わせていただくことになりました。

選挙期間中、全県をくまなく回り、多くの県民の皆様の声を伺いました。そうした中で、特に県北地域の振興は地域の皆様から非常に強いご要望があり、日立市における「共創プロジェクト」の推進や里山景観を活かした観光振興など、3期目の1丁目1番地として力を入れなければならないと、あらためて痛感したところです。

昨年度は、国際情勢の混迷が更に深まり、国内では日本人ファーストを掲げる政党の躍進や物価高の継続など、社会変化を象徴する出来事が多い1年だったと感じています。

私は、これまでの8年間、人口減少が急激に進む中、こうした激動の時代を見据え、経済力の強化に向けた施策などに力を入れるとともに、困難な課題にも果敢に挑戦してまいりました。

その結果、昨年度は、県外企業立地件数が8年連続で全国1位となり、農産物輸出額は就任前の24倍にまで拡大し、観光消費額は3年連続で過去最高を更新しました。また、1人当たり県民所得は3年連続で全国3位となるなど、大きな成果を上げることができました。さらに、長年の課題であった水戸保健医療圏の病院再編やTXの延伸についても具体的な検討に着手することができました。

当面の物価高対策と県内経済の成長に向けて

中小企業の適切な価格転嫁の促進や 生産性向上などへの設備投資への支援を拡大

浅野 長引く物価高騰とエネルギーコストの増大は、県内中小企業の経営を圧迫し続けています。こうした中、



2025年度を振り返り思いを語る

県に対する期待感としては、一時的な支援に留まらず、コスト増を価格転嫁できる県内商慣行の徹底、そして中小企業の黒字化への後押しだと考えます。昨年度は県内企業の稼ぐ力を高めるために、DX活用による生産性向上や販路拡大を支援されてきましたが、今年の一手をどの様に考えていますか？ また、全ての産業で喫緊の課題となっている深刻な人手不足に対し、外国人材の活用や省力化投資の促進をどう進めていくかなど、知事が頭に描いている戦略について伺います。

大井川 県では、物価高や人手不足の中で経営改善に取り組む中小企業を積極的に支援しており、本年度はこれらの事業を更に拡充してまいります。

まず、適切な価格転嫁の促進に向け、中小企業・個人事業主に対し中小企業診断士の派遣を行うとともに、販路開拓に向けて、食品事業者に対しては物産展の開催やECサイトの活用を支援するほか、ものづくり企業に対しては、展示会への出展も支援するなど、ビジネスチャンスの拡大を図ってまいります。

また、生産性向上や省力化に向けた設備投資を支援するため、「イノベーション投資促進融資」の新規枠を昨年度の3倍に拡大するとともに、今年12月までの臨時措置として、信用保証料の補助率を5割に引き上げ、事業者負担を軽減することとしています。

併せて、人手不足が深刻化する中においては、外国人を含む多様な人材の活躍により、イノベーションや新たな付加価値を生み出し、本県経済の活性化を図ることが大変重要であると考えています。

このため、県では、優秀な外国人材の確保に努めるとともに、その能力を最大限に発揮できる環境を整備



第51回衆議院
総選挙中の
浅野議員



するため、昨年度、外国人材の受入れに関し優れた取組を行う企業の認定制度を創設し、これまでに16社を認定したところです。今後、それらの取組を広く周知し、県内全体への横展開を図ってまいります。

広域的視点から見た茨城県の役割

日本経済をリードする 豊かで経済力のある県を築く

浅野 知事は就任以来、茨城県の潜在能力を「稼ぐ力」に変える改革を推進してこられました。本県には、世界屈指の知が集積する「つくばを中心とした県南地域」、行政・文化の拠点であり歴史と伝統を繋ぐ「県都・水戸」、そして日本屈指の産業集積を誇る「日立・鹿島などの臨海・県北地域」と、全国に類を見ない多様な拠点が点在しています。日本の国際競争力を高める上で、茨城県はどのような「成長のエンジン」としての役割を担っていくべきだとお考えでしょうか。また、知事が描く「日本をリードする県・茨城」の将来像について聞かせてください。

大井川 今後、人口減少が加速度的に進む中において、我が国が持続的に発展していくためには、成長する海外の経済力を取り込むグローバル化と徹底した差別化、高付加価値化などにより、高収益な産業構造を確立する

ことが極めて重要だと考えています。

こうした中、本県は、東京圏に近接して広大な平地が広がり、陸海空の広域交通ネットワークが整い、筑波研究学園都市や日立、鹿島などの特色ある研究・産業拠点が存在するなど、優れた立地優位性を有しています。また、1人当たり県民所得が3年連続で全国3位、勤労者世帯1世帯当たりの可処分所得が全国6位であるなど、全国上位の経済力を有しています。

私は、こうした本県の持つ優位性と潜在能力を最大限活用し、本社機能や世界をリードするグローバル企業の生産拠点などの誘致や、本県の特色を活かした新産業の創出・育成、優れた農林水産物の更なるブランド化と輸出の促進などに力を入れるとともに、アニメなどのクリエイティブ・コンテンツ産業や宇宙産業など、世界的に中長期的な成長が見込める産業の振興を図り、日本経済をリードする豊かで経済力のある県を築くことにより、国内外から「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増える、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指していきたいと考えています。

国民民主党・浅野議員に期待すること

実質賃金が向上し、
経済の好循環の実現に繋がる
議論を活性化させてほしい

浅野 今年の2月に施行された第51回衆議院総選挙を終えて、私自身は4期目とさせていただきました。選挙の際には応援をいただき誠にありがとうございました！一方で、永田町の景色は一変しました。衆議院では自民党単独で3分の2を超える316議席を有するまでに大きくなり、多くの野党が議席数を減らす中、国民民主党は現有勢力を堅持したことで、国会での役割が一層大きくなっています。これからの国民民主党に期待することそして、私に対するご意見があれば是非お聞かせください。

大井川 まずは4期目のご当選、おめでとうございます。浅野議員におかれましては、初当選以降、毎回獲得票を伸ばし、今回は初めて7万票を超えての当選となりました。日頃の議員活動への評価と、今後への期待の表れだと思います。

今回の選挙は、高市旋風のもと自民党が圧勝する結果となりましたが、国民民主党も議席を伸ばし、存在感を示されました。これは、「年収103万円の壁」の引上げやガソリン暫定税率の廃止などの実績とともに、「手取りを増やす」という具体的な訴えが、現役世代を中心として幅広い国民に支持された結果である

と思います。引き続き国政における議論を活発化させていただくことにより、実質賃金が向上し、経済の好循環の実現に繋がっていくことを、私としても期待しているところであります。

私としましては、今後も浅野議員と連携・協力を深めつつ、地元日立市で進められている「共創プロジェクト」の推進をはじめ、地域の産業の活性化などによる県北地域の振興や、中小企業の生産性向上と賃上げの促進などによる、経済の好循環の形成に向けた取組みを進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

2026年度に向けて

重点的に進める 3つの取組を推進していく

浅野 2026年度の抱負や個人的な目標があれば教えてください。

大井川 人口減少などにより大きな時代の転換点を迎える中、引き続き、失敗を恐れず挑戦する県政、スピードを重視し結果にこだわる県政、県民にとって優先順位の高い施策に資源を集中する県政を推進し、本県を更

に飛躍させてまいりたいと考えています。

特に今年度は、3期目の新たな県総合計画のスタートの年となりますので、次の3つの視点に立った取組を重点的に進め、道筋をつけていきたいと考えております。

1点目は、他地域にはない特長をつくるための「差別化」で、県北地域の振興や、クリエイティブ・コンテンツ産業の振興、農林水産物の高付加価値化などに力を入れてまいります。

2点目は、本県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」で、TXの延伸や、茨城空港の機能強化、水戸保健医療圏の病院再編、新たな産業団地の造成などに力を入れてまいります。

3点目は、「多様な人材が活躍できる社会の実現」で、ひとり親世帯の支援のほか、優秀な外国人材の確保・育成や外国人児童・生徒への日本語指導の充実、外国人などのルール違反に対する厳正かつ包括的な対応に力を入れ、秩序ある共生社会の実現をめざしてまいります。

本年度も、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、県民の皆さんと共に挑戦してまいります。

浅野さとし プロフィール

略歴

1982年9月生まれ
2005年3月 青山学院大学理工学部卒
2007年3月 青山学院大学大学院理工学研究科修了
2007年4月 株式会社日立製作所 日立研究所入社
2013年8月 日立製作所労働組合研究所支部執行委員
2015年9月 大島章宏衆議院議員秘書
2017年10月 衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)
2021年10月 衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)
2024年10月 衆議院議員3期目当選(第50回衆議院選挙)
2026年2月 衆議院議員4期目当選(第51回衆議院選挙)



日立事務所

〒317-0071 茨城県日立市鹿島町1-11-13
友愛ビル1階
TEL 0294-21-5522
FAX 0294-21-3014
Mail:contact@asanosatoshi.com

ご意見
ご要望

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL 03-3508-7231
FAX 03-3508-3231
MAIL:contact@asanosatoshi.com

